



# Solarwerk Solarmovement

J622.10

J622.50

**Junghans社の時計をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。**  
Junghans時計はいつも特別な存在であり、長い時計製造やデザインの歴史を持っています。そして今でもその使命を沿革して取り込んでいます。1861年シュランベルクのブラックフォレストに成功した物語を始め、それぞれの新しいモデルは大成功となりました。各時計に現れた要素はJunghansが特別な存在であることを証明します：スタイル、情熱、革新的な精神または細部に至るまでの高精度。言い換えると：伝統技巧へ最新の時計技術と刺激的なデザインを組み合わせる。それは正真正銘のJunghansとなります。自分のスタイルで生きる人々への時計であり、当社はお持ち主としてのお客様に心からお祝いを申し上げます！

Uhrenfabrik Junghans GmbH & Co. KG

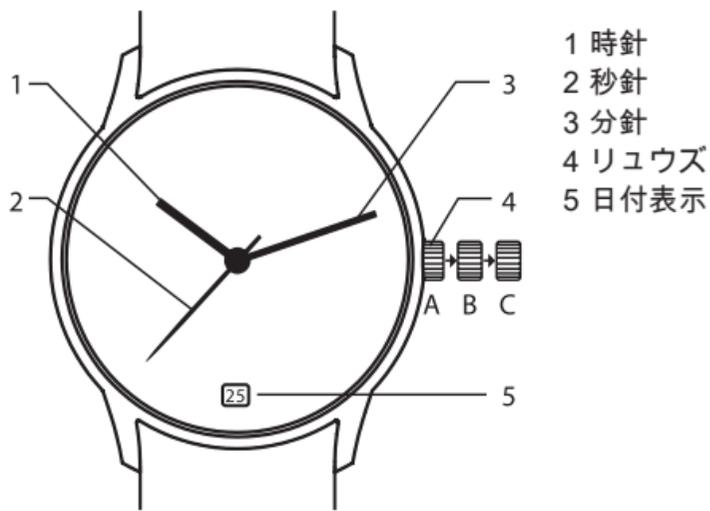
目次	ページ
1. 環境に優しいソーラー技術	271
2. ソーラー腕時計 J622.10	272
2.1 操作部と機能	272
2.2 充電状態表示	273
2.3 充電時間	274
3. ソーラーアラーム・クロノスコープ J622.50	276
3.1 リュウズロック	277
3.2 操作部と機能	277
3.3 充電状態表示	278
3.4 充電時間	279
3.5 クロノスコープの操作方法	281
3.6 アラーム	282
3.7 キャリバー J622.50のリセット	283
3.8 カウンター針のゼロ位置調整	283
4. タキメーター目盛り付き時計に関するご案内	285
5. J622を最適な状態でお使いいただくために	286
6. 仕様	287
7. 一般的な注意事項	288
8. 防水性	289

## 1. 環境に優しいソーラー技術

電池不要のテクノロジー！ 光—この場合、日光でも人工光でもたいした違いはありません—は、ソーラー文字盤または光透過性の文字盤を突き抜けます。文字盤がこれらの光を電気エネルギーに変換し、このエネルギーは長寿命の蓄電池に蓄えられます。蓄電池はソーラー腕時計の電源機能を果たし、完全な暗闇の中でも時計を駆動させることができます

## 2. ソーラー腕時計 J622.10

### 2.1 操作部と機能



#### 時刻の設定

リュウズをCの位置まで引き出して下さい。ムーブメントが停止します。時刻を秒単位まで正確に設定するには、秒針が60の位置にきたときにムーブメントを停止させると良いでしょう。この状態で分針を文字盤のインデックスに正確に合わせ、希望の時刻に設定することができます。リュウズをAの位置に押し戻すと、秒針が動き始めます。

#### 日付の設定

リュウズをBの位置へ引き出して下さい。リュウズを右回転させると日付を設定できます。20時から2時までの時間帯は日付を変更しないで下さい。この時間帯に、ムーブメントによって日付の自動切り替えが行われるため、日送り機構が損傷するおそれがあるためです。

31日までない月の場合は、日付を手で翌月の1日へ進めて下さい。

#### 2.2 充電状態表示

お使いのユンハンス製ソーラー腕時計を常に正しく機能させるためには、電池切れが表示されていないか確認いただく必要があります。この時計は、蓄電池の充電状態を定期的にチェックします。蓄電池残量が十分でない場合、秒針が2秒単位で動き始めます。この場合は、時計をできるだけ早く再充電して下さい。

## 2.3 充電時間 J622.10

### 日々の稼働

下記の表は、蓄電池を放電させずに日々の通常稼働向けに電力を十分確保するため、時計を1日に光に当てるべき時間を示しています。

光源	ルクス	1日の動作維持時間
屋外での日光	約 50.000	2 分間
窓から入射する日光	約 10.000	5 分間
曇りの日に窓から入射する日光	約 5.000	8 分間
室内照明の発光体	約 500	1 時間

充電中に時計をセ氏50°C以上にさらさないよう、ご注意ください。

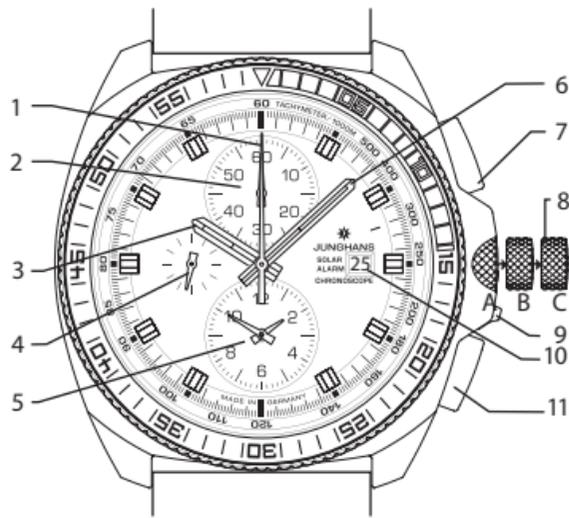
### 完全に放電した後

以下の表は、蓄電池が完全に放電した後の充電時間を示しています。これらの充電時間は、光源の強度によって異なります。表に記載されている基準値を目安にして下さい。ソーラー文字盤のデザインは、充電時間に影響を与えることをご了承下さい。

光源	ルクス	時計が作動するまでの充電所要時間、	フル充電までの充電所要時間
屋外での日光	約 50.000	約 2 時間	約1日
窓から入射する日光	約 10.000	約1日	約4日
曇りの日に窓から入射する日光	約 5.000	約2日	約8日
室内照明の発光体	約 500	-	-

充電中に時計をセ氏50°C以上にさらさないよう、ご注意ください。

### 3. ソーラーアラーム・クロノスコープ J622.50

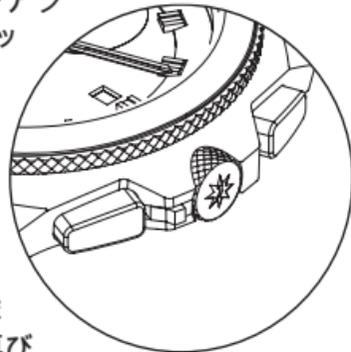


- 1 1/5秒針
- 2 ストップウオッチ分針
- 3 時針
- 4 秒針
- 5 アラーム時刻
- 6 分針
- 7 スタート・ストッププッシャー
- 8 リュウズ
- 9 セーフティスライダー
- 10 日付表示
- 11 リセットプッシャー

#### 3.1 リュウズロック

ご注意：お使いのユンハンス製ソーラーアラーム・クロノスコープには、リュウズロックが装備されています。

針の位置が不用意に動いてしまうのを防ぐために、リュウズ位置Cをロックすることができます。リュウズ位置をロックするには、リュウズとリセットプッシャー (11) の間のセーフティスライダー (9) を噛み合うまで上にずらしませぬ。セーフティスライダー (9) を下に再びずらすと、リュウズのすべての機能を利用できるようになります。



#### 3.2 操作部と機能

##### 時刻の設定

リュウズをCの位置まで引き出して下さい。ムーブメントが停止します。時刻を秒単位まで正確に設定するには、秒針 (4) が60の位置にきたときにムーブメントを停止させると良いでしょう。この状態で分針 (6) を文字盤のインデックスに正確に合わせ、希望の時刻に設定することができます。リュウズを Aの位置に再び押し戻すと、秒針 (4) が動き始めます。

### 日付の設定

リュウズをBの位置へ引き出して下さい。リュウズを右回転させると日付 (10) を設定できます。20時から2時までの時間帯は日付を変更しないで下さい。この時間帯に、ムーブメントによって日付の自動切り替えが行われるため、日送り機構が損傷するおそれがあるためです。

31日までない月の場合は、日付 (10) を手で翌月の1日へ進めて下さい。

### 3.3 充電状態表示

お使いのユンハンス製ソーラーアラーム・クロノスコープを常に正しく機能させるためには、電池切れが表示されていないか確認いただく必要があります。この時計は、蓄電池の充電状態を定期的にチェックします。蓄電池の残量が十分でない場合、秒針 (4) が2秒単位で動き始めます。この時間中は、クロノスコープとアラーム機能は非作動になっています。そのため、時計をできるだけ早く再充電して下さい

時計を電池切れの状態でも長時間作動させたり、蓄電池が放電したまま保管しておいた場合は、確実に機能させるために、リセット (3.7項を参照) を行ってからカウンター針のゼロ位置調整 (3.8項を参照) を行って下さい。

### 3.4 充電時間 J622.50

#### 日々の稼働

下記の表は、蓄電池を放電させずに日々の通常稼働向けに電力を十分確保するため、時計を1日に光に当てるべき時間を示しています。

光源	ルクス	1日の動作維持時間
屋外での日光	約 50.000	2 分間
窓から入射する日光	約 10.000	4 分間
曇りの日に窓から入射する日光	約 5.000	7 分間
室内照明の発光体	約 500	1 時間

充電中に時計をセ氏50°C以上にさらさないよう、ご注意ください。

## 完全に放電した後

以下の表は、蓄電池が完全に放電した後の充電時間を示しています。これらの充電時間は、光源の強度によって異なります。表に記載されている基準値を目安にしてください。ソーラー文字盤のデザインは、充電時間に影響を与えることをご了承下さい。

光源	ルクス	時計が作動するまでの充電所要時間、	フル充電までの充電所要時間
屋外での日光	約 50.000	約 36 分間	約1日
窓から入射する日光	約 10.000	約 3 時間	約4日
曇りの日に窓から入射する日光	約 5.000	約 8 時間	約7日
室内照明の発光体	約 500	-	-

充電中に時計をセ氏50°C以上にさらさないよう、ご注意ください。

## 3.5 クロノスコープの操作方法

### 計時の開始（最大ストップ時間は60分間）

スタート・ストッププッシャー (7) を押してクロノスコープをスタートさせます。

### 計時の停止

スタート・ストッププッシャー (7) をもう一度押すと、クロノスコープが停止します。

### リセット

リセットプッシャー (11) を押して下さい。ストップウオッチ分針 (2) と1/5秒針 (1) が0の位置に戻ります。

### 積算計時

初回計時後に、リセットプッシャー (11) を押さずにスタート・ストッププッシャー (7) をもう一度押すと、停止した時点の時間を積算することができます。クロノスコープカウンターが、最後に停止した針の位置からカウントを再開します。スタート・ストッププッシャー (7) をもう一度押すと、クロノスコープが停止します。クロノスコープカウンターをゼロ位置に戻すには、リセットプッシャー (11) を押します。

## スプリットタイム計時

ストップサイクルを終了せずに、ストップサイクル中にスプリットタイムを表示させることができます。まずスタート・ストッププッシャー (7) で計時を開始します。スプリットタイムを読み出すには、リセットプッシャー (11) を押します。その間も計時は行われています。もう一度リセットプッシャー (11) を押すと、クロノスコープカウンターが経過した計測時間に瞬時に追いつきます。スタート・ストッププッシャー (7) をもう一度押すと、クロノスコープが停止します。クロノスコープカウンターをゼロ位置に戻すには、リセットプッシャー (11) を押します。

### 3.6 アラーム

アラーム機能を利用するには、アラーム表示 (5) も現在の時刻を表示している必要があります。

#### ステップ 1：現在の時刻の設定

リュウズをC位置まで引き出します。

1分1秒刻みで設定したい場合は

– リセットボタン (11) を短く、連続的に動かして

– 設定したい場合は長く押し、アラーム表示 (5)

に現在の時刻が表示されるまで押します。

最後に、リュウズを位置Aに押し戻します。

#### ステップ 2：アラーム時刻の設定

リュウズをB位置まで引き出します。

リセットボタン (11) を使って、希望のアラーム時刻 (5) を設定しま

す。アラームを開始するには、リュウズを位置Aに押し戻し、ネジを締めます。これで、アラーム表示 (5) に、設定されたアラーム時刻が表示されます。

アラーム時刻に達すると、20秒間、信号音が鳴ります。

ボタン (7 / 11) を押すことによって、アラームを事前に終了させることができます。

以下の点にご注意ください。アラームが鳴ると、その後はアラーム機能が無効になります。次回作動するまで、アラーム表示 (5) には現在の時刻が表示されます。アラームをもう一度使いたい場合は、上記の通り、リセットボタン (11) を使ってアラームを設定してください。

### 3.7 キャリバー J622.50のリセット

蓄電池が完全に放電した後、リセットを行うことをお勧めいたします。まずリュウズをCの位置まで引き出して下さい。リュウズはロックされていないため、ご注意ください。スタート・ストッププッシャー (7) とリセットプッシャーを同時に2秒以上押します。リュウズをAの位置に戻します。リセットが行われたら、正しい時刻と正しい日付 (10) を設定して下さい。

### 3.8 カウンター針のゼロ位置調整

1つまたは複数のクロノスコープ針がゼロ位置に正しく合っていない場合 (蓄電池が完全に放電した後など)、ゼロ位置に調整する必要があります：リュウズをCの位置まで引き出して下さい。

## アラーム針

リュウズはロックされていないため、ご注意ください。この状態でリセットプッシャー (11) を押して、アラーム針を調整します。

アラーム針 (5) が現在の時刻を表示するまで、リセットプッシャー (11) を一刻みごとに調整するには短く押し、連続して調整するには長押しして下さい。アラームがセットされている (ただし作動していない) 状態で調整を行うと、アラーム針 (5) が現在の時刻へ動きます。

## ストップウォッチ分針

ストップウォッチ分針 (2) を調整するには、スタート・ストッププッシャー (7) を2秒間押します。針 (2) が一回転し、開始位置で静止します。リセットプッシャー (11) を押して、ストップウォッチ分針 (2) を調整します。プッシャーを短く押すたびに針が1分ずつ動き、長押しすると針が高速で動きます。

1/5ストップウォッチ秒針 (1) を調整するには、スタート・ストッププッシャー (7) を再び2秒間押し続けて下さい。針 (1) が一回転し、開始位置で静止します。

## 1/5ストップウォッチ秒針

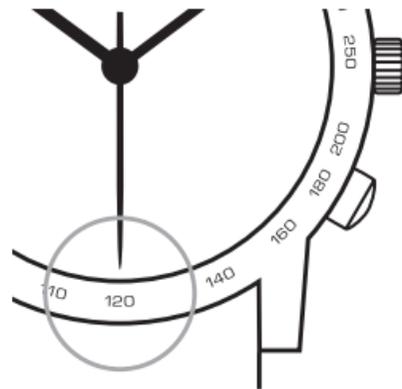
リセットプッシャー (11) を押して、1/5ストップウォッチ秒針 (1) を調整します。プッシャーを短く押すたびに針が1分ずつ動き、長押しすると針が高速で動きます。

すべての針を正しく調整した後、リュウズをAの位置に押し戻し、セーフティスライダー (9) でリュウズをロックして針が不用意に動いてしまうのを防ぎます。

## 4. タキメーター目盛り付き時計に関するご案内

### タキメーター目盛りの測定方法

ここでは、目盛りは1キロメートルの距離に対応しています。この距離の最初にストップ機能がオンになり、1キロメートル後に経過時間がストップします。目盛り上の秒針は平均走行速度を示しています。例：運転助手としてアウトバーン上で車を走行させるとします。50 m間隔で視線誘導標があります。1番目の視線誘導標でストップサイクルを開始し、21番目の視線誘導標でストップサイクルを終了します。これで、1キロメートル進んだことになります。このとき、秒針は平均速度を示しています。1キロメートルに30秒間かかった場合、平均速度は120 km/h になります。



## 5. J622を最適な状態でお使いいただくために

このソーラー腕時計を常に最適な状態でお使いいただくには、できるだけ明るい場所での保管をお勧めいたします。ソーラー文字盤を長時間にわたって衣類で覆ってしまうと、時計が正常に動かなくなるおそれがあるため、ご注意ください。蓄電池が放電した場合は、本時計を明るい光に当てて早めに充電して下さい。お使いのソーラー腕時計の充電時間は、光源の強さとソーラー文字盤のデザインによって異なります。表(252ページと257ページ)に記載されている基準値を目安にして下さい。

### 重要：

発熱性の光源にソーラー腕時計を近づけないようにして下さい！また、本時計を直射日光に長期間当てたままにしないで下さい！50℃を超える温度は、時計が損傷する原因になります！

## 6. 仕様

キャリバー J622.10

クォーツソーラー時計

最大4ヶ月のパワーリザーブ

作動温度は0℃～+50℃

キャリバー J622.50

1/5秒針とアラーム付きクォーツソーラー・クロノスコープ

最大6ヶ月のパワーリザーブ

60分間のストップ時間

作動温度は0℃～+50℃

予告なく仕様を変更する場合があります。

### 適合性宣言

ここに、Uhrenfabrik Junghans GmbH & Co. KGは、本腕時計が指令2014/53/EUの基本要件およびその他の関連条項に適合していることを証明します。該当する適合性宣言は、[info@junghans.de](mailto:info@junghans.de) で請求できます。

## 7. 一般的な注意事項

防水性は、湿気が時計の中に侵入することにより、外部の影響を受けることがあります。そのため、時計を定期的にユンハンス製品に詳しい専門業者に点検させることをお勧めします。点検修理作業とベルトの修理も、公認のユンハンス修理工房で行ってもらってください。

アルコールを含む香水や消毒剤、化学洗剤（ベンジンやシンナーなど）に触れると、ガラスやシーリング、レザーストラップの寿命が縮まるので、直接触れないようにしてください。

お使いの時計には、当社による数々の検査に合格した高品質ストラップが付いています。万一、ストラップを交換される場合は、同等の品質のストラップか、できれば純正ストラップをご使用ください。時計およびレザーストラップのお手入れには乾いた布、または少し湿らせた布をご使用ください。メタルストラップは小さなブラシと石鹸水を使ってお手入れする方が望ましいです。

## 8. 防水性

表示名	使用例				
	 手洗い 雨 水しぶき	 シャワー	 入浴	 水泳	 呼吸装置を使わず に潜る (スノーケリング)
表示名ナシ	不可	不可	不可	不可	不可
3 BAR	可	不可	不可	不可	不可
5 BAR	可	不可	可	不可	不可
10 BAR	可	可	可	可	不可
20 BAR	可	可	可	可	可
30 BAR	可	可	可	可	可

DIN（ドイツ規格協会）の防水性規格は構造に関する目印の一つですが、衝撃や温度変化、紫外線などの外的要因からも、化粧品や洗剤（油脂や酸）に触れることによっても影響を受けることがあります。したがって「3-30気圧防水」の状態は新品の時計にだけ当てはまることに注意してください。腕時計は定期的に点検してもらうことを推奨します。



Uhrenfabrik Junghans GmbH & Co. KG  
Geißhaldenstr. 49 · D-78713 Schramberg  
[www.junghans.de](http://www.junghans.de) · [info@junghans.de](mailto:info@junghans.de)